

114
A 4758



菊ニ就テ

大隈伯

諸君今佐水君ヨリ有益ナル貝売舎ニ就テノ咄ニ有マシ
 ヲガ是ハ枯リ園藝具而已ナラス国益上大切ノ事ト考ヘマス自
 分ハ庭ヲ以テ草木ヲ愛スルカラ諸君ハ定カシ此園藝會ニ有益
 ナル咄が出来ソウナモノト思ハシメシヨウガ自分ノハ元ガ
 道楽カラ始ツタノチマルカラ学程上ノ咄デハナイガ折角諸君
 ガ大勢御集リノコトデモアリ且菊苑ノ好時期テアルヤ菊ノ
 コトニ就テ御咄シテ仕ヨウト思ヒマス



備此菊ト云フモノニ付キ昨日モ專門學校ノ先生達ノ権ヤナル
読ヲ聞マシタガ菊ト云フ詞ハ支那ノ詞デアルヨミテ共此意
麗ナル花ガ天子様ノ御紋所ト成テ居ルト云フハ支那ヤラ尊カ
レタルニ相違ナイカハ知ラシガ日本ニモ古ニハヨリ有ルコト
テ奈良ノ朝ノ頃モ菊ト云フコトガ淡山云フテアリコト
今日學所上ノ分類ニ於テハドウカ知ラタガ日本ニテハ古名ヲ
ふもぎ又ハハカハラウモギト云フテ居ッタ其頃ニハ拾モ今日ノ
野菊デアリテ姿ハ概子草辨テ花ノ形ハ同程デ四方ニ盛ガリ日
ノ光輝ノ如ク目今ノ軍隊ノ帽子ノ徽章ニ似テ居タモノト思ハ

レル此菊ノ花ガ日本帝室ノ御紋所ト關係ヲ有スルト云フ訣ハ
萬世一系ノ御子孫ハ天ヲ代表サル、ノテ天孫即チ天子ハ太陽
比ニテアル夫故ニ帝室ノ徽章ハ太陽即チ日ノ出デアルカラ帝
室ノ徽章ニ太陽ヲ用ウルハ至当ノコトデ然レ共御紋所ニ太陽
ノ光線デハ面白クナイカラ美術的ニ形容ヲ加ヘテ太陽ノ周囲
ノ光線ヲ菊ノ花ノ様ニ作りタモノデ有ウト思フ免モ角モ光線
ガ変シテ今日ノ御徽章ノ菊ノ御紋所成タノデアル
菊ハ黄金ノ花ト云フ意味ヲ以テオル支那テモ黄金花ト云ヒ日
本ニモ古ノ時代ニハハカハラウモギト云フチアミダニカハゆダド

唱へて至ら目出タイ名料が行ハレタ迄来菊ト云ハバ日本が名
高イ其レモ其管テ天子孫ノ御尊ニシテ又親菊ノ合ヲ遊バス
コトモアリ故ニ日本ハ菊ノ花ヲ持テ居ル又事ヲ好ム人ハクリ
サニチントモワクリハ天子サニチハ花ト云フコト世異列ル所
ニ流行シテ居ル菊ノ時節ハ其進合ヲ京キ徳考者ハ其價ヲ
行フト云フ勢ヒテ今ハ種類モ種々増殖シテ居ル日本
ハ十月土月ト云フ頃が菊ノ時節カハ此際ハ田米加テハ冬デ
モ全株ニ菊ノ花ヲ咲カセル此春開院ノ宮が四月ノ末ニ菊花満
開ニタノテ所悦ビガ有クフトモマル

乙

一昨年即チ三十一年二月カ三月カ倫敦英國銀行重立ノ有ラ響
應シタ片ニ日本ハ日本銀行ヲ代表シテ菊ノ花ヲ込山陸列シタ
菊ハ或ラデモマル花ノ代價ハ數千圓テテーブルノ向フモ皆花
ヲ来賓モ至極悦ビニシタ菊ハ日本バカリテナク彼国テハ文隆
トシテ今頃ヨリ四五月頃ヲテ宴會ガ多クアルカ彼国ハ非常ニ
花ヲ愛スルヨリ菊ヲ何時テモ咲カシテアリコス前ニモ亦モ如
ク菊ハ彼ニ支那ヨリ導アレタルモノトスルモ日本天皇陛下ノ
御所テ即チ旭月カマン菊ヲ見レハ日本ノ花リニ菊ヲ見テ日
本ヲ愛シ菊ヲ見テ日本ヲ知ル如斯菊ハ日本ニ關係深キ花ヲ斯

ク言ハバ自カノ道ホヲ護スル操テアルカ自カハ如斯思ヒマ
ス

又菊ノミナラス花ヲ愛スル人ニ悪人ハ少ナイト思フ者ニトナ
レハ花ヲ見ル心持ニナレバ心自ツカラ優美ニシテ善トナルを
花ヨリ園子ト云フ語エマレド是ハ暫ク形跡ケトシテ菊ヲ愛ス
ル程ノ善人ハ又命ガ長イ菊返童モ寿命ガ長イ併シ餘リ長命ヲ
シテ世ノ中ノ邪回ニナルカモ知レナイガ菊ト云フ花ハ善人、
縁故ガ深クシテ悪人ニハ結ヒツカヌ善人、結ヒツキニ例ガ多
イ

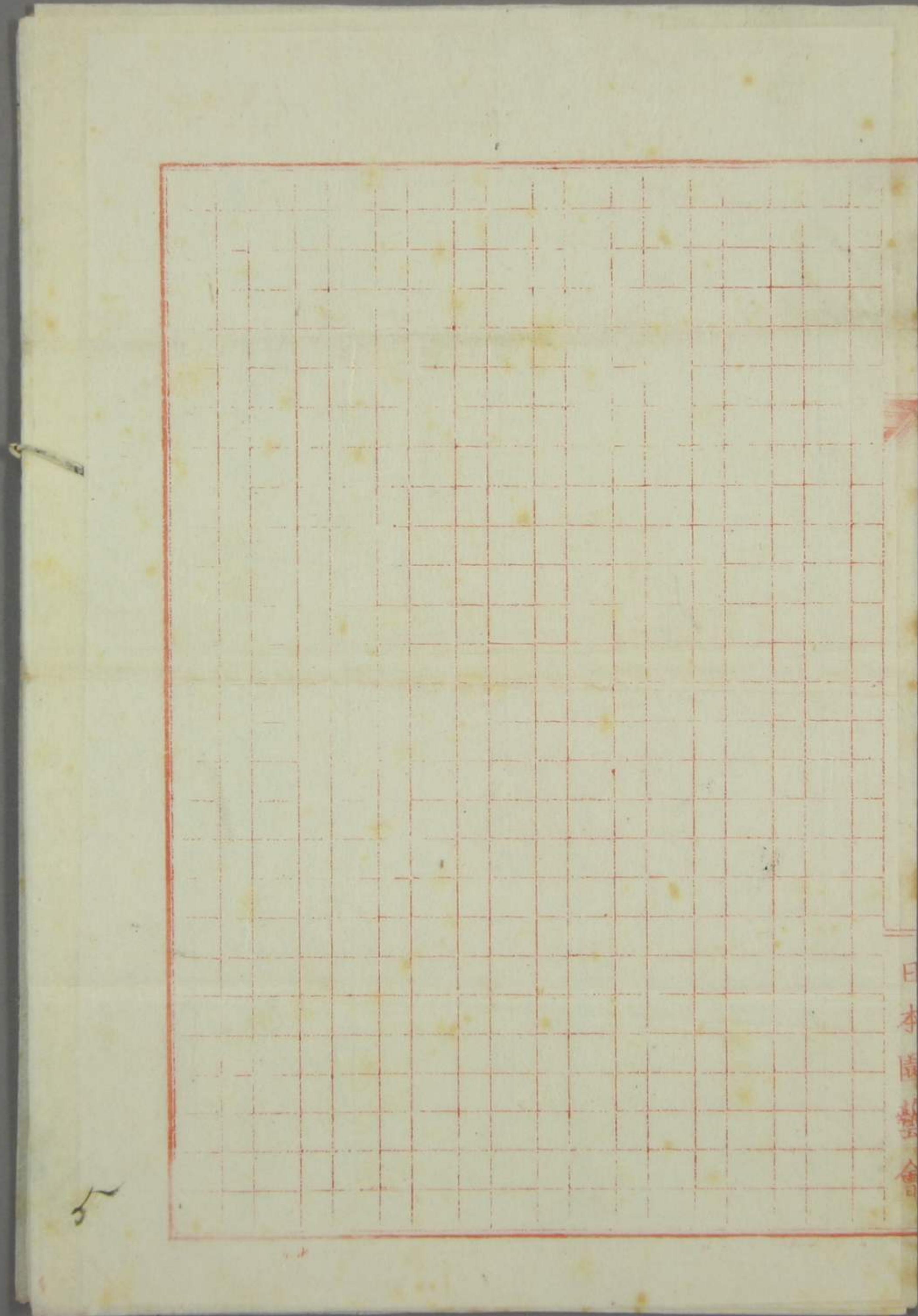
又先刻條。木先生ノ由ノ由ガ有タガ一寸由ノ由ニ致シヨウ

由ト云フ由ハ極イカヌ由テ是ガ第一ト非常ナ害ヲ為スカラ
此會客ヲ驅除ニナケレハナラヌ之ヲ退治スレバ植物ハ必ス能
ク生育シマスガ然レ由ガ甚ク有害カト云一バ左様デモナイ中
ニハ會客ヲモ能ク御クノガ有テ其會客ノ主人ノ為メニ至極有
益ナル者ガアル是ガ共同ノ會客ヲ植物ノ由ニ是ト左様ノモノ
ガアル決シテ由ハ甚ク害由ノミテハナイ彼ノ微菌ハ且殺虫ノ
敵トナリテ其害リテアル植物ニ利益アルカ如キ訣テ之ト左ニ
ク共同ノ利益ヲナケレバナラヌ他ヲ害スルノミテハ宜シクナ

イ自分ノ道亦モ自分ヲ益スルハ申込モナリ他ヲ害スルコトハ
少シモナリ今日此菊ヲ見ラル、諸君モ必ス之ヲ愛玩サル、ナ
ラン左スレバ之レ即チ共同ノ利益デアル彼ノ見立也ノ他ヲ害
スル而モ己ヲハナイリ信ジマス殊ニ菊ハ日本ノ徽章デマリ日本
ノ花デマリ之ヲ愛シ之ヲ賞シ諸君レ共同ノ道亦ヲ為スノデア
ル尤モ今日自分ノ咄ハ精神上ノ働キノ咄デアル

自分モ是カラ向フノ山ヨリ此^{コト}地ヲノ山道沢山花ヲ作りテ共同
ノ道亦ヲ擴張致サウリ思フ是ハ出来得ルコトデ難キ事デハナ
イ世界ニ教ラモアル亞米利加^川ニモ植物ヲ教ヲ田數十方田ノ

當ヲ為シテ居ル者ハ沢山アル今日自分が御咄ミラスルノハ專
ラ精神上ノコトデ物質上ノコトハ今考一中テアリマス



日本圖書會

5~